

日本共産党杉並区議会議員

週刊

# こんにちは 山田耕平 です

2013.1.24 No.102

このニュースへのご感想  
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1  
TEL 090-9973-0941  
ホームページ  
<http://yamadakohei.jp>

## 地域住民との調査活動中 上井草駅の“開かずの踏切”問題の解決へ



遮断機作動後（片側は閉じた後）も横断者は後を絶たない（上）  
調査ポイント（右）黒丸●  
に調査員が配置



### 南北自由通路の切実な要望 危険な実態も明らかに…

現在、西武新宿線 上井草駅の「開かずの踏切」問題について、周辺住民の方々や調査活動を実施しています。

この問題は、上井草駅周辺の南北交通が整備されていないため、朝のラッシュ時などに交通が遮断され、歩行者や自転車、自動車などの通行に混乱が生じるものです。

また、横断者が一斉に踏切に集中するため「車両が踏切内で立ち往生する」「自転車や歩行者が遮断機内に取り残される」などの危険な状態が日常化しています。

この問題の解決のために、多くの住民から「南北を自由に横断出来る通路」を求める切実な要望が寄せられています。

### 調査内容と危険な実態例…

実態調査の内容は以下の通りです。

- ◆ 踏切遮断による影響
  - ・ 遮断している時間を計測
  - ・ 踏切遮断により、滞留する横断者数（歩行者・自転車）をカウント
- ◆ 踏切周辺で発生した危険な実態の把握
  - ・ 遮断機作動後の横断者数のカウント
  - ・ 踏切内に取り残される横断者の把握等について調査しています。

#### ◇危険な実態例

- ・ 踏切遮断後も、横断する歩行者が続出。
- ・ 自転車が遮断機内に取り残され、周囲の人が助けに入る。

### 南北通路実現に向けて

この間、住民と共に杉並区行政とも懇談を行ないました。区は「西武新宿線の連続立体交差化事業の中で、踏切問題も解決される」としています。

しかし、事業化されるまでには、今後、数年（最短でも五年程度）〜一〇年以上の長期の計画となり、問題解決の道筋は不透明です。日常的に危険な状況が発生している問題を長期に放置することはできません。

早急に南北自由通路を設置するなど、住民の願いに沿った検討を行なうべきです。

調査活動にご協力をお願いします!

次回は1月25日（金）  
7:30分より調査開始です

# 区民のくらしを守る防波堤へ 杉並区へ年頭の申し入れを実施

区議団で新年の申し入れ



「五五〇億の基金」積み立て優先でなく  
住民の福祉向上にこそ力を入れよ

一月十七日、日本共産党杉並区議団は、杉並区に対し、新年の申し入れを行いました。政策経営部長が対応しました。

申し入れでは、認可保育所の増設、高齢者・障害者の福祉施設的大幅拡充、各種保険料の負担軽減、緊急の融資制度の整備や住宅リフォーム助成制度の創設、震災対策の強化、教育環境の整備など、十一項目です。

杉並区は「財政のダムが必要」として、今後五五〇億円の基金積み立てを予定していますが、必要な福祉施策を削減し、積み立てを優先することは許されません。

## 住民の生活苦が広がる

「年金が減っているのに保険料が値上がって生活が苦しい」「年収が二〇〇万円しかないのに、国民健康保険料が増えるのはおかしい」「子どもが保育園に入れない」など、切実な声が日々、寄せられています。昨年は、各種保険料が大幅に引き上がり、大きな打撃を与えました。

地域の商店でも閉店が相次ぎ、特養ホームや認可保育園の不足も深刻です。杉並区が区民のくらしを守る防波堤として、福祉の向上という自治体の責務をしっかりと果たすよう求め、奮闘します。

## 放置自転車対策に効果 「サイクルツリー」の視察

昨年末、放置自転車対策の一環として、大規模な自転車駐輪を可能とする「サイクルツリー」事業を視察しました。

この事業は、都市部などの用地確保に困難がある場所において、コンピューター制御で全自転車の駐輪を管理、現状の空間を最大限に活用し、大量の駐輪スペースを確保するというものです

設置には多少のコストがかかるものの、都市部での放置自転車対策には効果を発揮します。今後、杉並区内での活用が可能か、調査します。



全自動で駐輪を管理（上）  
大量の駐輪スペースが確保できる（右）



大規模な自転車駐輪所として

## 育メン日誌

年末年始は、置いてけぼり…

年末年始は、私が仕事に追われ、妻と息子は実家の伊豆大島へ帰省。私だけ、杉並に残ることになりました…。数日間、私の実家のお世話になりましたが（杉並区内）、年明け早々、自炊をする日々。「俎板始め」とはこのことか！！

実は、私は句会に入っており、下手な句を詠みます。ちょうど、私がお世話になっている草花句会の兼題が『俎板始め』。

俎板始めとは、元旦にも台所を預かる方は、料理をしなければいけないため、晴れ着などで料理をする様を現す季語です。私の場合は、ジャージですが…。

ということで、一句詠みました。

「さりさりと走る俎板始めかな」

葱を切っている時に思い付いた句…。まだまだ修行が必要な内容…。今年は、俳句の上達も目指して頑張ります！



妻子揃ってご馳走を食べ、太って帰ってきました。羨ましい(笑)